

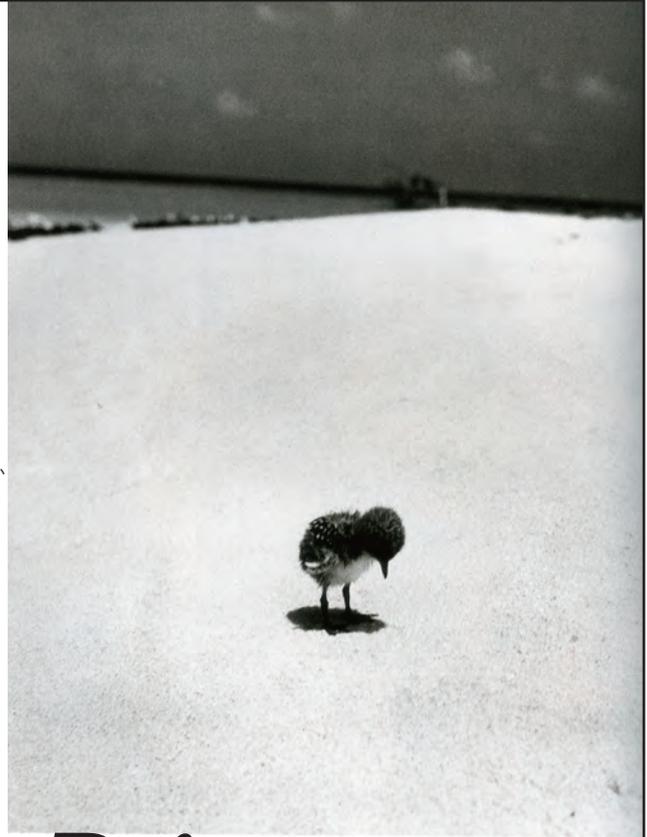
COLUMN

鎌倉の猫事情 第七十七話

暑い夏の勢いも陰りを見せ始め、夕暮れには涼しげな日暮しの声が聞えています。今でも暑い夏の日には、赤い紐を引きずりながら走り去っていった茶トラの姿が思い出されます。その後の茶トラの辿った運命は、ひどく過酷なものだったに違いないのです。ついに、最後はどうなったかはわかりませんが、もう、とうに力尽きあの世に召されたものと思っています。それでも茶トラは頑張って生きていました。力の限り自由に生きていました。その姿を何度か見かけたのです。私が茶トラの現れそうなところに、グーニーたちのご飯のお裾分けをしていた頃は、まだ雨と泥にまみれて重く垂れ下がった赤い紐を引きずっていました。ミルクホールのスタッフもその姿を見かけていたようで、あまりの落ちぶれように驚き心配していました。ある日、「もう、紐はつけてなかったですよ」という目撃談を聞きました。逃げてきた家に戻ったのかと思いましたが、ところが、また別のスタッフから、「茶トラの人相書が、そこの通りの塀に張ってありましたよ」という話を聞いて、その場所に見に行ってみると、確かにありました。「迷い猫・茶色トラ・すごく大きい・赤い紐をつけている」と、というような内容で、その後に電話番号も記されていました。スタッフの一人が電話を掛けてみたのですが、通じませんでした。茶トラは私にきっぱりと、「逃げ切るばい」と、言いましたから、自分で戻ることはないとは思っていました。と、すると……？ 誰かがお隣の縁側に茶トラがいるのを見かけていましたから、猫好きで扱いにも慣れているお隣の人があまく茶トラを捕まえて紐を外してくれたのかもしれませんが、ともかくあのみじめな紐が取れたと聞きほっと安心しました。私は、以前グーニーが茶トラに半殺しの目に合わされたのを忘れたわけではないのですが、どうにも気になって相変わらず物干し台などに餌をおいていました。すると翌日には一粒残らず消えているという繰り返しでしたが、姿を見ることはありませんでした。ところがある夜、私が帰宅し階段を上がっていくと、様子が変わる事に気づきました。夜、大抵はグーニーは階段まで迎えに来るのに、何か静かです。居ないのかな？ と、階段から部屋を覗くと、グーニーはソファの上に、スィーピーは少し離れて床の上に、落ち着き払って座っているのです。私に気づいているのに、もっと他のことが気になっているのです。いよいよ不思議に思って猫達の視線の先に目をやると、なんとあの茶トラが、うちの居間の中心に落ち着いて座り込んでいるではありませんか！ 「ええっ……？」 私は思わず、声を上げていました。



to be continued



Pain

傷

「あたいの左足が痛む時には、必ず何か悪い事が起きるんだ」

それが彼女の口癖だった。俺と彼女はいつも一緒だった。始めは悪ふざけのつもりの小さな悪事も、二人一緒にぶらぶら遊び暮らしている内にだんだんやる事があくどくなっていったんだ。良いわけないことは分かってたさ、俺達だって。そのうち本当に食いつめて、あの頃二人で暮らしたぼろアパートの家賃さえ払えなくなって、いつも大家に見つからないようにアパートの裏の塀をよじ登って、窓から部屋に忍びこんで平気な顔をしていた。人目を気にして夜中彼女を肩車してアパートの部屋に帰るのも、二人で入ったレストランで、さんざ飲み食いして、彼女がおとりになってお金も払わず逃げしてきたことも、あの頃はただ楽しかった。「大丈夫！ 今に左足の痛いのも治るから、そうしたら何もかもうまくいくようになるからさ」って、てんで言い訳にもならないことを言って二人で笑ってた。あの頃は何も分かってなかった。俺達の悪運も、もう尽きてたんだってことも、あいつのことも、何も分かってなかった。あの日あいつはひどい熱があったのに、「今日は平気、だってほら左足がこんなに高くあがるもん。運のついてきたってことよ」って、俺が止めるのも聞かずに一人で酒場へ出掛けて行った。あの日、あいつは一人で「仕事」したんだ。それでどうとうあいつは捕まった。無銭飲食の常習と、その上彼女の名義の部屋だった家賃滞納で訴えられて、俺が身元引受人になるって迎えに行っても、「あたい、こんな人知らない」って、目にいっぱい涙ためて、俺の顔を見るばかりで、小さな声で「帰って！」って。そのうちどうにか出られたみたいだったけど、俺に会おうとしなかった。しばらくして俺に会いに来たときは、痩せて、なんだかもう駄目って感じだった。最後に会ったとき、「ごめんね。本当に。でもね、もうママに会いたくなっちゃった」って。お前にママなんかいないの俺、知ってたのに、俺はただ、「そうか」って、言ったんだ。あれから彼女には会っていない。ごめん。本当に、ごめん……ごめんよ……左足、まだ痛むかい？





LIVE

ミルクホールの BAR TIME を
ライブでお楽しみ下さい。

by HALF MOON

9/20 Sat.
19:30~

琢磨 仁
琢磨 啓子



HALF MOONは、愛と平和を歌います

鎌倉の夜はミルクホールで

DINNER とお酒のひと時を ...

DINNER SET

オードブル サラダ
メイン ディッシュ
パン or ライス
デザート
コーヒー or 紅茶

DINNER TIME
PM 5:30 -- PM8:00

¥2200~

Information

「鎌倉ミルクホールタイムス」

ミルクホールタイムス総集編

ミルクホールタイムス創刊号から100号までを編集した
ミルクホールタイムス総集編。
現在連載中の「鎌倉の猫事情」、初回から前編終りま
で掲載しています。 ¥1800

ミルクホールタイムス
定期購読募集

ミルクホールタイムスは、毎月25日の定期刊行致してい
ます。定期購読ご希望のお客様には、毎月25日に発送
致します。メール、FAX、お葉書などでお申し込みを。
年間定期購読料 ¥1500

HISTORY

ミルクホールのルーツ 13

ようやく、長かった8月が終わります。子供の頃、8月は特別な月でした。1年中で1ヶ月間学校がお休みで自由に遊べたのは8月だけなのです。それでも8月15日だけは、登校日と決まっています。暑い中帽子を被って学校へ行きました。そして校庭では校長先生の前に全校生徒が整列をして、終戦記念日の黙祷を行ったものです。この日に雨や曇りだった記憶はないですから、毎年青い空と入道雲の下で子供たちは黙祷が始まるまでの時間、帽子を取って立っていました。あの頃はきっと日本中の子供がそうしていましたが、今もやっているのでしょうか。もう、止めたでしょうね。昭和30年代のお話です。私達の親達は全員が戦争に関わっていました。ですから、皆それぞれがそれぞれの異常な体験を子供や友人に語っていました。何も言わない人もいましたが、その無言がもっと重い何かを語っていました。私は子供の頃大人たちの話を聞いていて大人になるとそういうことがあるのかと思っていました。どの体験を聞いてもとても自分が耐えられるとは思えず、重荷に感じていましたが、一方で大人は自由でいいなと

KAMAKURA

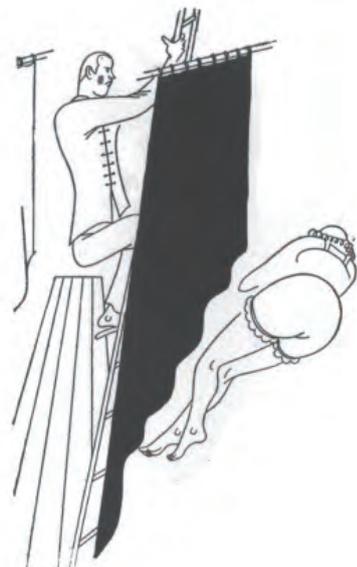
場所の記憶 27

FAX 0467 - 24 - 9537

e - mail/ info @ milkhall.co.jp

も思っていました。昔話をする大人達の普通の生活はどこかのびのびとしているように感じたのです。ともあれ私の楽しい8月の真ん中には、ぼっかりと黒く重くのしかかる1日がありました。私の育った名古屋の町は、戦争末期には米軍の絨毯爆撃を受けていました。女子学生だった母は、学徒動員で軍需工場へ通っていました。木炭バスに乗り、死体を踏み分けて通ったそうです。ある時、突然の空襲で火の中を逃げ惑い暑くて飛び込んだ川は血で真っ赤に染まっていたそうです。そこで、恐怖を紛らすために皆で「帰れ、ソレント」を歌った事を話して聞かせてくれました。母は終戦時17才でした。名古屋には大きな軍需工場があり、軍港もありましたから、原爆を投下する事も考えられたそうですが、繰り返され空襲の為にすでに焦土となっていた為、落とされませんでした。それ程、名古屋は徹底的に攻撃されたのです。その燃えさかる戦争中の名古屋の町にも、ミルクホールとの不思議な因縁があったことを知ったのは、ごく最近のことです。それは、名古屋の町を壊滅させるほど激しい空襲が行われた日、歴史に残る名古屋大空襲の日のことでした。

次号へ続く





ANTIQUES

伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク

♣ 古陶磁

伊万里・古伊万里・
明治べろ藍・大正色絵等々

古伊万里染付鉢
幕末伊万里そば猪口
江戸期
明治銅版小皿
伊万里輪茶碗・そば猪口
古伊万里豆皿・なます
明治瀬戸石皿・鉢



♠ 和洋家具

明治初期の衝立
大正時代京筆筒 三段
大正時代ガラス水屋
昭和初期丸テーブル
明治・大正時代小筆筒各種
昭和初期デスク色々
明治～昭和文机各種
大正時代ガラスケース

♣ 古民芸・骨董

大正時代鏡台入荷

道教の壁画 女人像
大正時代ランプ
北斎仏頭大理石
灯籠台天燈器
浮世絵硝子絵
アフガン石仏
古瓦各種



◆ アンティーク

50'S 眼鏡屋ポスター油絵
額入り鏡各種入荷
ハート型額入り鏡
大正・昭和初期色ガラス各種
明治・大正のガラス各種
鉄製ディスプレイ用小物台
浮世絵ガラス絵入荷
レプリカシェード ¥5800より

木のかんざし
¥1800より

花のかんざし
¥2500より

つくり帯
半衿・帯揚げ
くるみボタン
かんざし

ミルクホール製
くるみボタン

くるみボタン ¥100より
くるみボタンのコーム
¥1200より

ミルクホールオリジナル

和の小もの

ミルクホールで昔の着物を解いて作りました。

♥ ミルクホールオリジナル
ミルクホールオリジナルグラス新入荷
ささめやゆきイラスト入り 5種
マグカップ・デミタスカップ・灰皿など



24 昔は御殿女中が着たが、今は若い人の着物に多く見られる。お召や銘仙の普段着に多い。

✂ 半衿・帯揚げ
刺繍入半衿

鹿の子絞りや、ちり緋、お召し、銘仙など、昔の着物の生地で作りました。

また、夢ニデザインの新半衿に習い、ミルクホールオリジナルデザインの、刺繍入半衿など。少し奇抜に見える半衿も、洗った着物を一層引き立てることも、上級編に挑戦してみは？

半襟 ¥800より
帯揚げ ¥800より

✂ 帯・
つくり帯

大正・昭和のアンティーク名古屋帯
ミルクホールのオリジナル半幅帯やつくり帯など
つくり帯は簡単に結べて時間のない時に便利是非お試し下さい。

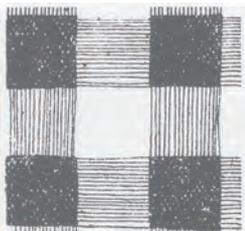
大正・昭和名古屋帯
¥3800～

半幅各種 ¥2000～

✂ 古布

使い方色々、長尺物や小さな端布のアラカルトまで1メートル1000円ほど。

端布組み合わせ
¥300より



32 弁慶の大きなもの。夏もこの明石など清々しい。夏もが藍べんけい、茶が茶べん

✂ アンティーク着物

大正・昭和の秋の着物入荷

着物は新しく仕立てると高価なものです。が、古着は驚く程安価に揃えられます。特に初心者の方にお勧めです。まず、着てみましょう



絁単衣・ちりめん・銘仙・お召し・小紋
琉球絁・久留米餅・大島絁など

